

英虞湾に浮かぶ周囲7.3kmの島「賢島」。  
真珠のふるさとであり、伊勢志摩サミット開催地となった  
魅力いっぱいのまち歩きに出かけよう！



明治26年(1893年)に御木本幸吉氏が賢島の南西にある田徳島(現在の多徳島)に真珠養殖場を創設し(戦後、大崎半島に移転)、明治40年(1907年)に見瀬辰平氏、西川藤吉氏が真円真珠の養殖に関する特許を取得するなど真珠の養殖技術の基礎が確立されて以降、英虞湾では盛んに真珠養殖が行われてきました。また、昭和30年(1955年)に賢島に国立真珠研究所、多徳島には臨海実験所が置かれ、“真珠のふるさと”英虞湾で現在の真珠養殖技術が確立しました。

昭和40年代半ばまで、賢島は英虞湾の真珠養殖資材の基地としても栄え、鉄道開通から昭和44年(1969年)までの間、賢島には「真珠港駅」があったことから当時の様子がうかがえます。

